

平成25年度

# 石巻市派遣職員 活動報告

- 一般事務
- 土木技術
- 建築技術



# 石巻市の被害状況

(石巻市HPより引用)

## 地震概要(気象庁発表)

- 発生日時 平成23年3月11日(金) 14時46分
- 震央地名 牡鹿半島の東南東約130kmの三陸沖  
(北緯38度06.2分/東経142度51.6分)
- 深さ 24km ○規模 M9.0 ○震度 震度6強(石巻市)

## 津波概要

- 津波の高さ 最大高さ T.P(東京湾平均海面) +8.6m(鮎川:気象庁発表)  
※津波計による最大高さ
- 浸水面積 73km<sup>2</sup>(H23.4.18国土地理院発表)  
※市内の13.2%(平野部の約30%)が浸水  
※T.Pとは、東京湾平均海面(Tokyo Peil)のことで、全国の標高の基準となる海水面の高さです。
- <参考> 被災6県62市町村の浸水面積合計 561km<sup>2</sup>  
(石巻市の浸水面積は全国の浸水面積のおよそ13%を占める)



## 石巻市の被害の状況

[ ]は全国(H26.10.10 警察庁発表)

- 人的被害 死者数 3,174人 [15,889人]  
行方不明者 428人 [2,598人]
- 建物被害 全壊 20,035棟 [127,511棟]  
半壊 13,044棟 [273,795棟]  
一部損壊 23,615棟 [744,975棟]  
合計 56,694棟 [1,146,281棟] ※石巻市の被災住家数は、被災前全住家数の76.6%を占めます
- 地盤沈下 最大沈降 -120cm(牡鹿地区鮎川)  
※参考資料:地盤沈下状況...P72参照



## 避難状況

- 最大避難者数 50,758人(H23年3月17日時点)
- 最大避難所数 259箇所

▲日和山より津波引波時の旧北上川中瀬方向をのぞむ  
(平成23年3月11日17:00撮影)

# 石巻市 復旧・復興事業費の推移（推計）

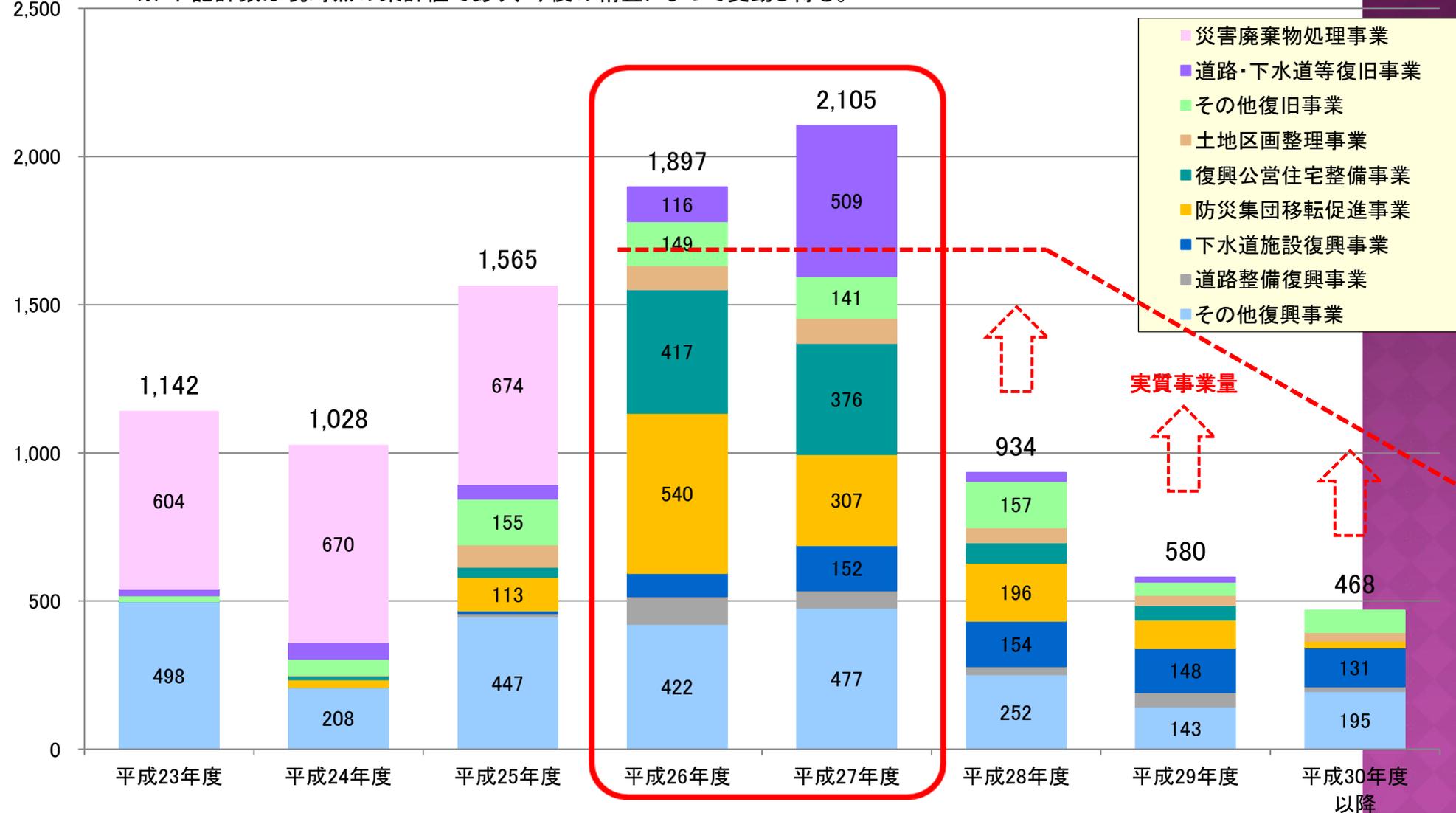
石巻市作成  
「石巻市における今後の復興の道行き」より引用

計画上の事業実施ピークは平成26・27年度。

しかし、業務遅延や入札不調により、多くの事業実施が後年度にずれ込むと見込まれる。

(億円)

※ 下記計数は現時点の集計値であり、今後の精査によって変動し得る。



# 職種：一般事務

## 派遣期間

平成24年4月1日～平成26年3月31日

## 配属先

平成24年度：福祉部被災市民生活支援課

平成25年度：福祉部生活再建支援課

## 業務内容

- ・ 応急仮設住宅入・退去者の管理業務
- ・ 空室の管理業務
- ・ 待機者の管理業務

# 業務内容

## ○ 業務内容

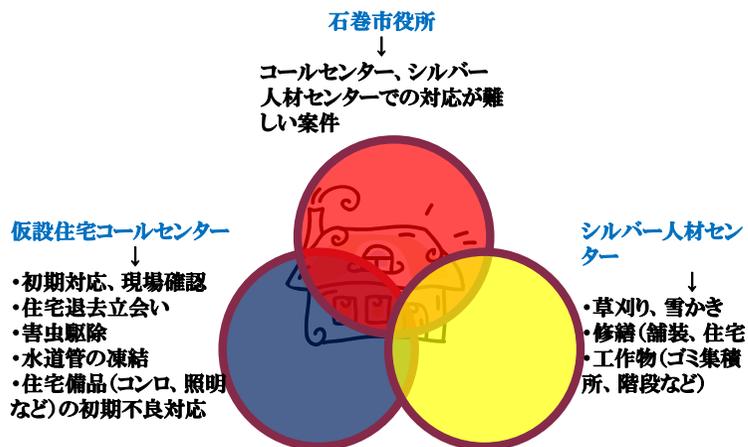
### ◎ 仮設住宅の管理運営

#### 1 入居者管理(ソフト面)

- ・入居申請受付、入居者トラブルへの対応
- ・又貸しや生活実態のない住戸への対応
- ・社会福祉協議会やボランティア等と連携した地域福祉の推進

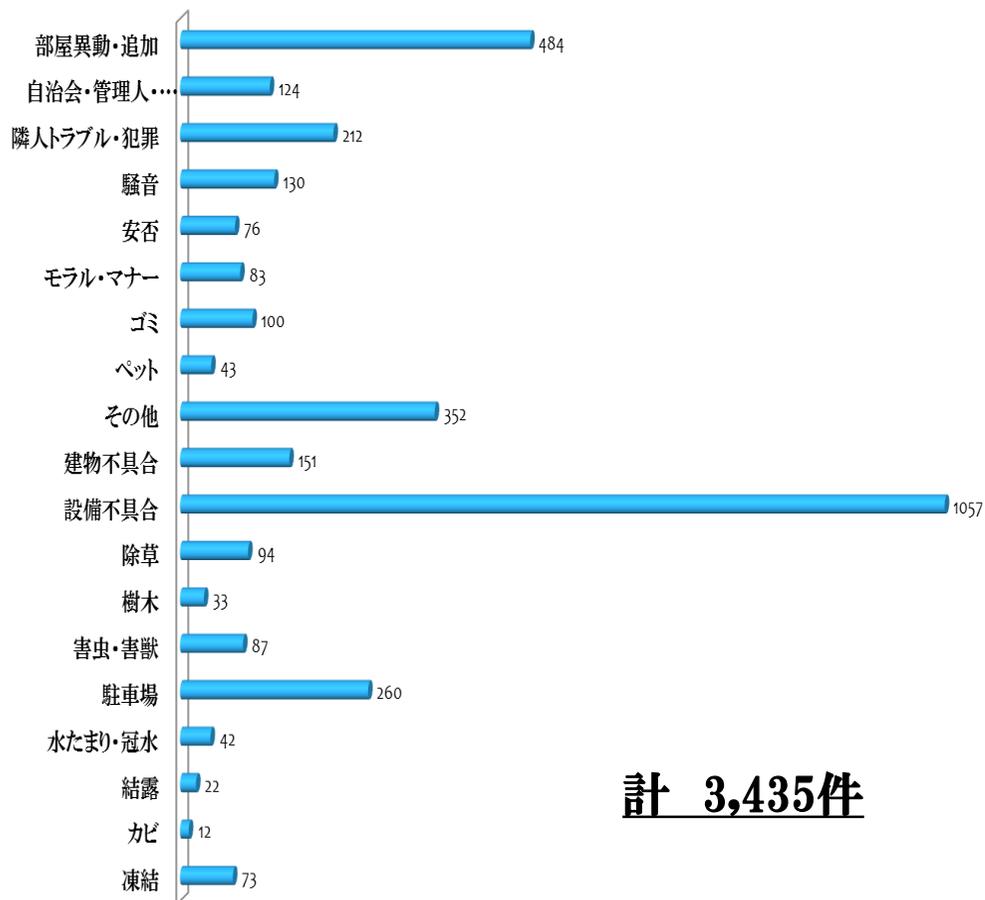
#### 2 住宅管理(ハード面)

- ・住宅不具合への対応

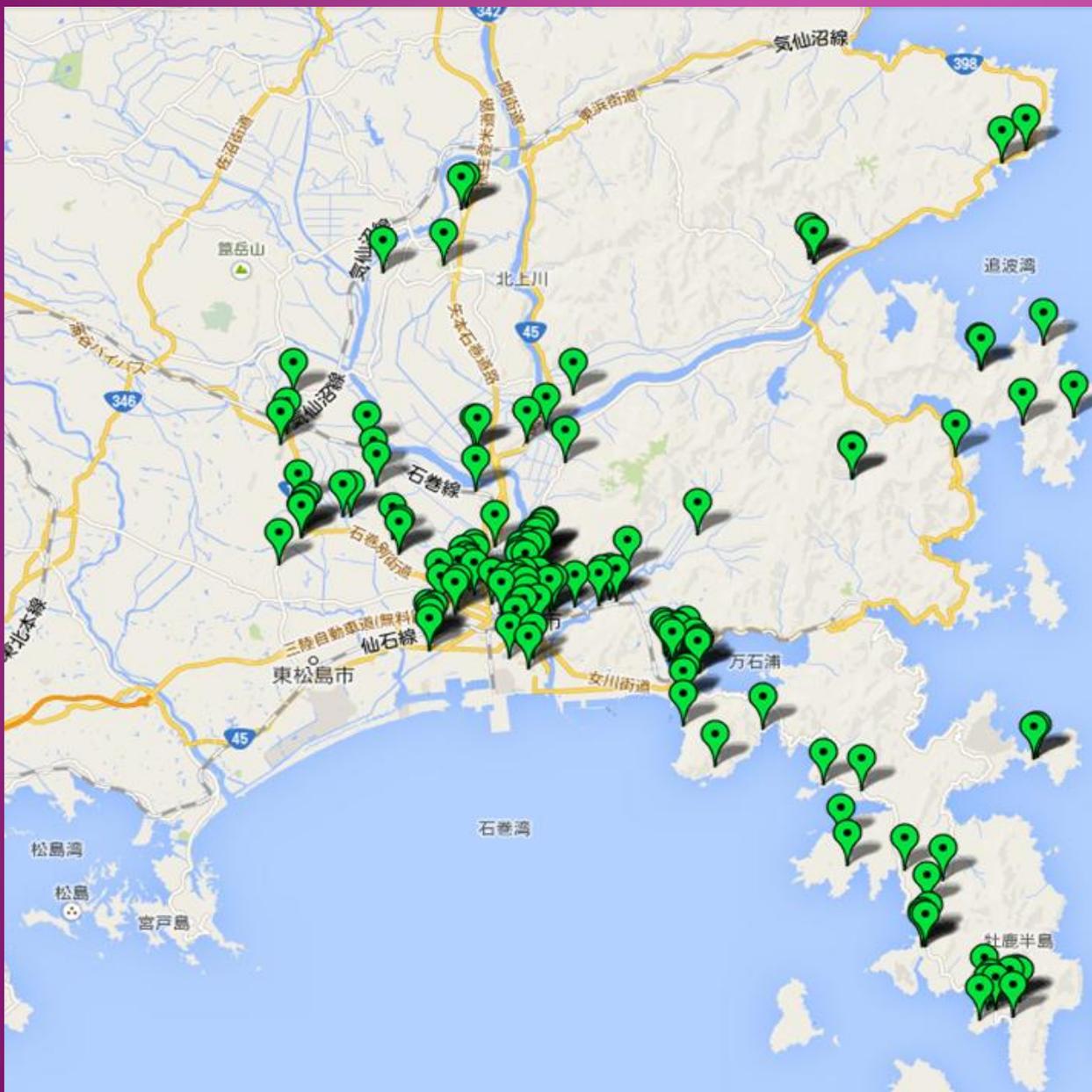


#### 主な仮設住宅対応件数

(平成23年8月～平成26年2月)



# 応急仮設住宅配置状況



○整備・入居状況（平成26年9月末現在）

	申請 件数	整備戸数		空き 戸数	入居者	
		箇所数	戸数		件数	人数
①応急仮設住宅	—	133	7,122	1,080	6,042 (7,102)	13,554 (16,788)
②民間賃貸住宅	7,231	—	—	—	4,149 (5,808)	10,747 (15,482)
合計					10,191 (12,910)	24,301 (32,270)

※（ ）内の値は、ピーク時の数値。

①応急仮設住宅・・・平成24年6月 ②民間賃貸住宅・・・平成24年5月

# 仮設住宅例



## 開成・南境地区仮設住宅 (被災地最大規模)

- 設置戸数 1,882戸
- 居住者数 4,139人  
(平成26年3月1日現在)

右は住宅メーカーが建設した仮設住宅



# 担当業務

## <不具合対応例①>

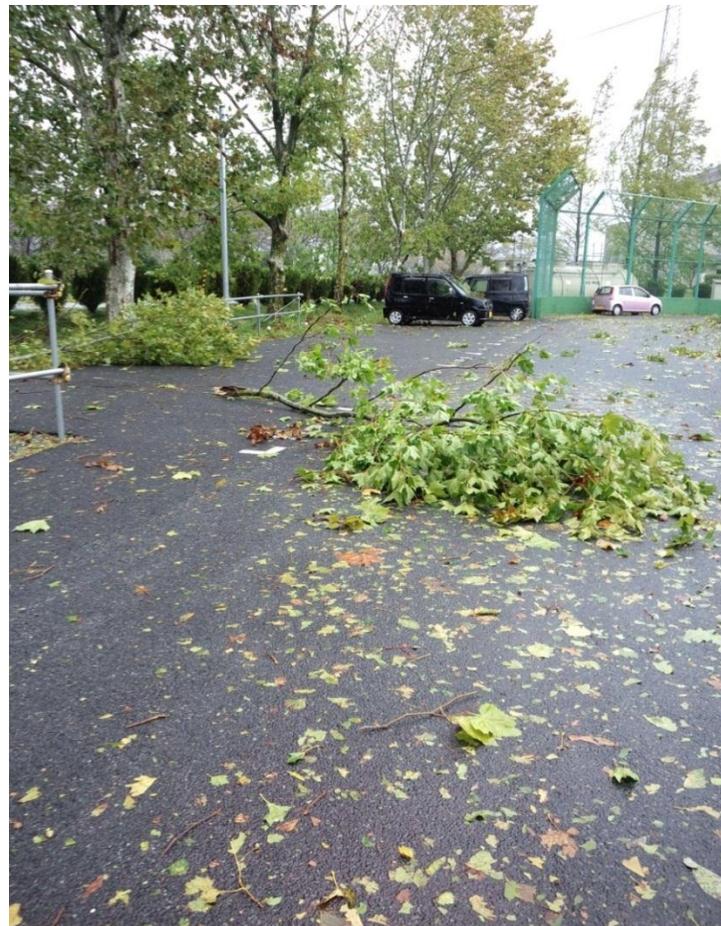


### ○ 結露とカビ

仮設住宅は構造上、鉄骨や屋根等から結露が発生しやすい。写真右はカビが発生した写真で、結露が原因とみられる。

# 担当業務

## <不具合対応例②>



### ○ 台風による倒木

仮設住宅の建設地は、主に公園や運動場となっている。自然が多い土地柄、強風による倒木や、春～夏にかけて害虫被害が発生しやすい。

# 職種：土木技術

派遣期間

平成25年1月1日～平成26年3月31日

配属先

建設部道路課建設グループ

業務内容

市道、橋梁等の復旧工事に係る設計・施工監理業務

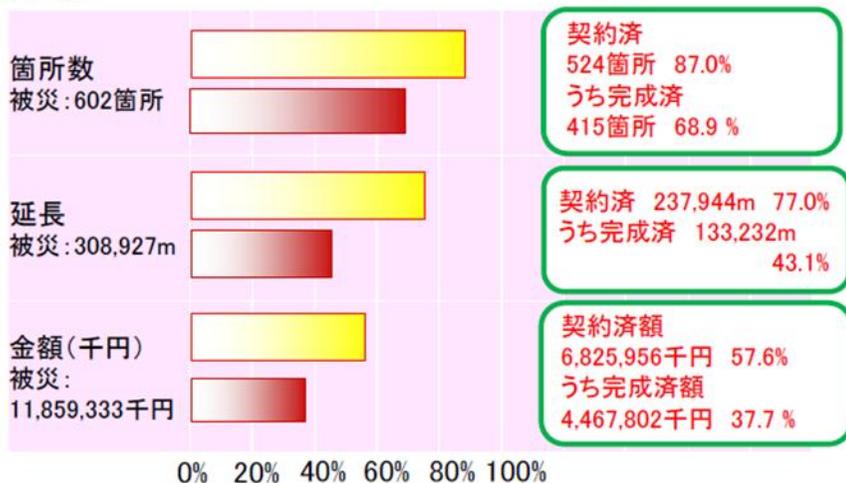
# 業務内容

## ○ 業務内容

- 道路・橋りょう等の災害復旧に係る設計・工事の監督

## ○ 道路被災及び復旧状況 (H26.10月現在 石巻市HP引用)

### ○道路



### ○橋りょう



# 被災状況例（道路）



路面の沈下・ひびわれ、  
ガードレールの沈下



# 被災状況例（橋梁）

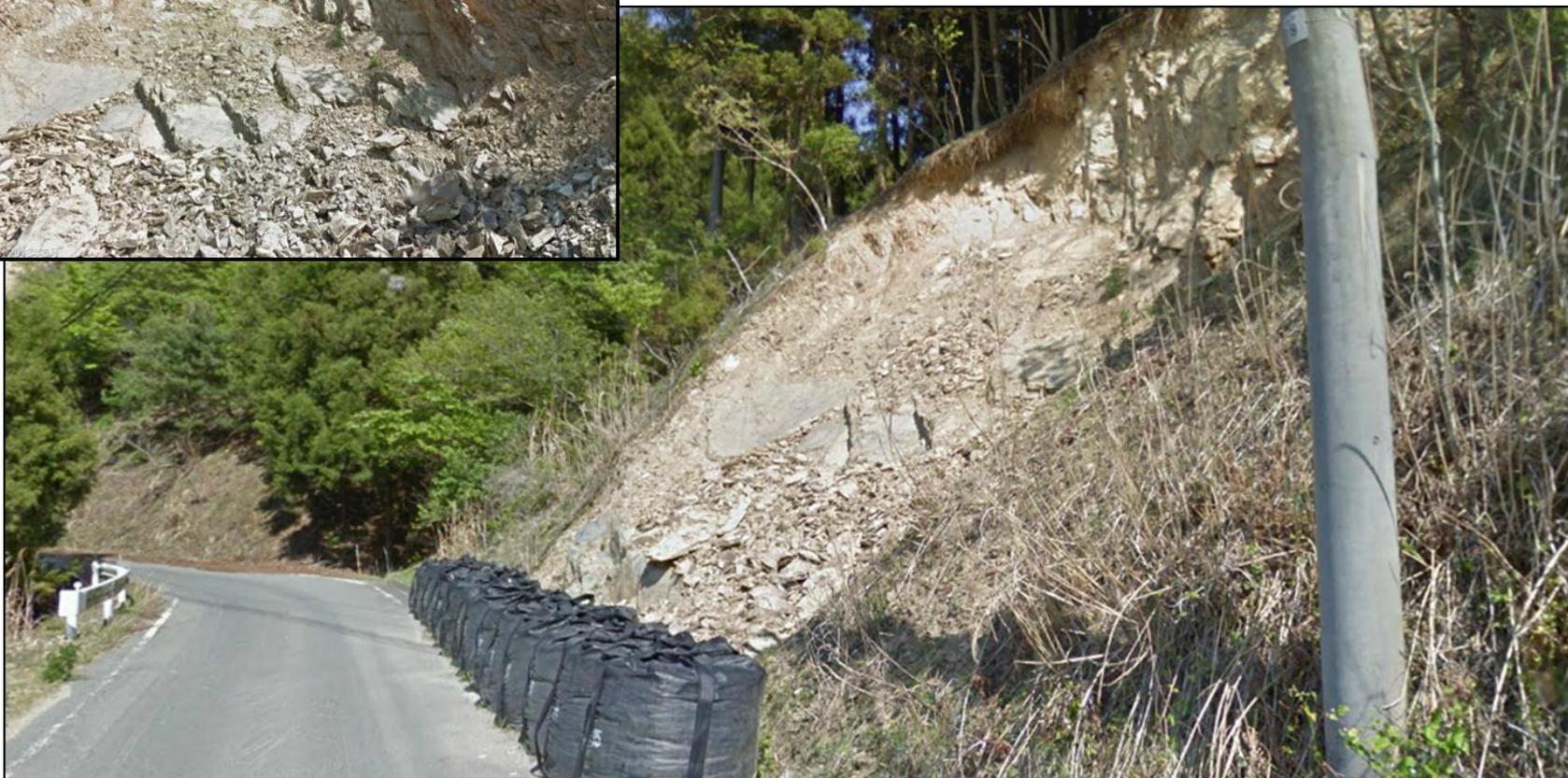


舗装・高欄の損傷、  
橋梁自体の沈下



# 被災状況例（法面）

法面の崩壊



石巻市渡波地区

# 担当業務例

## <災害復旧（道路）> 舗装・側溝復旧

復旧前



復旧後



地盤沈下による  
対策事例①

- 側溝を敷地側に移動
- 集水柵を嵩上げし、側溝の高さを確保

→急勾配を緩和

# 担当業務例

復旧前

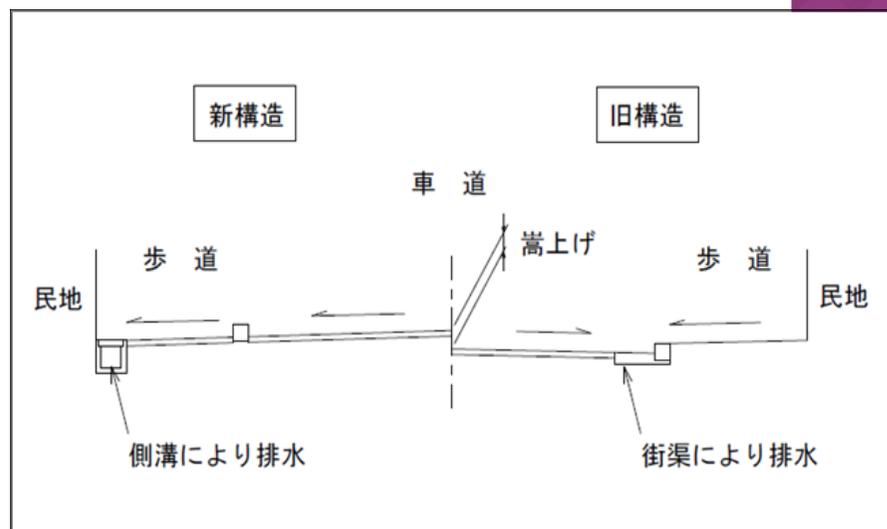


## 地盤沈下による 対策事例②

- 地盤沈下により、車道上に雨水が滞留し、通行の支障となり、道路構造の見直しを図った。

→排水機能回復

復旧後



# 職種：建築技術

派遣期間

平成25年8月1日～平成26年3月31日

配属先

建設部建築課

業務内容

公共施設の復旧工事に係る設計・施工監理業務

# 業務内容

## 業務内容

公共施設（復旧工事）の設計および工事監理業務  
（復興住宅は除く）

## 平成25年度の建築課実績

全体（工事、委託）

発注件数 129件

うち 契約件数 107件

建築工事

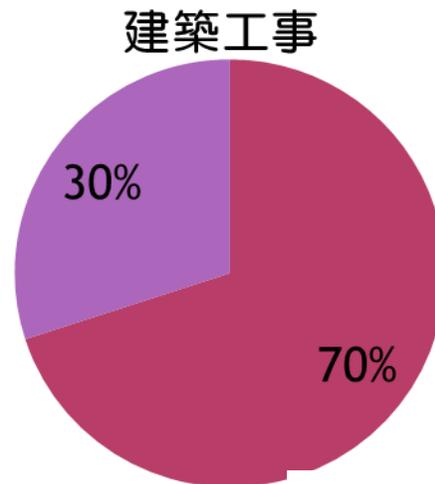
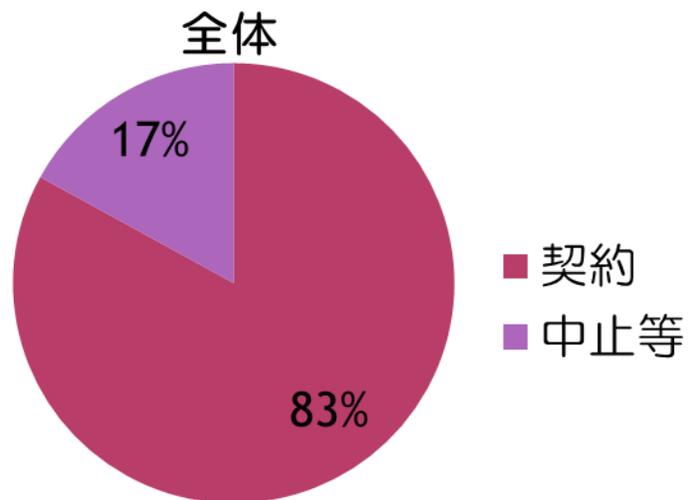
発注件数 51件

うち 契約件数 36件

総契約額 約108億円

ほとんどが国や県の補助事業

## 契約割合



# 担当業務 ①

- ◆ 被災資料等仮保管施設改修工事設計業務
- ◆ 被災資料等仮保管施設外部改修工事

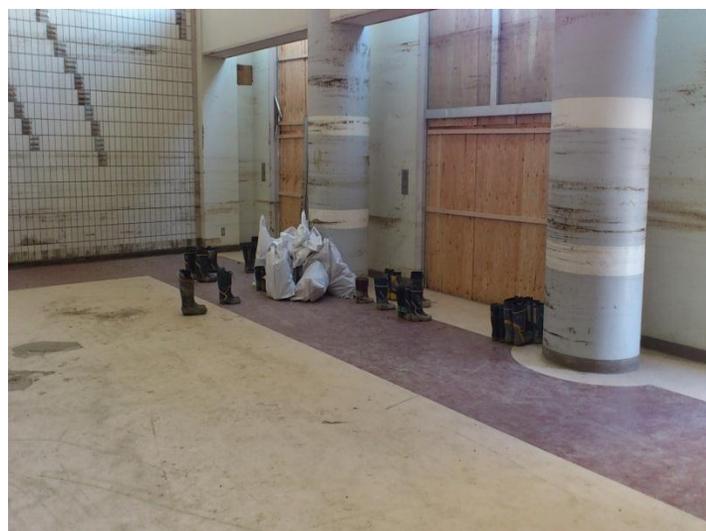
津波により被災した湊第二小学校を、保管場所が被災した文化財資料の仮保管施設として改修を行う。

平成25年度の工事は1階の外壁、外構の改修を行った。

引き続き、平成26年度工事として内部改修工事を行った。

工事場所  
石巻市大門町2丁目21番4

# 担当業務 ①



湊第二小学校 津波被災後の状況

# 担当業務 ①



改修前



改修後

# 担当業務 ②

## ◆ 旧本庁舎解体工事設計業務

旧石巻市庁舎の解体設計業務。

平成26年度に工事発注し、解体完了。

解体後は復興住宅及び老人福祉センターの複合施設を建設予定。

### 復興公営住宅・老人福祉センター複合施設

鉄筋コンクリート造5階建

延べ床面積 3,480㎡程度

復興公営住宅 40戸（2,840㎡程度）

老人福祉センター（640㎡程度）

### 工事場所

石巻市日和が丘一丁目1番1号

# 担当業務 ②



旧本庁舎 解体前



旧本庁舎 解体中

# 担当業務 ③

- ◆ 水産物地方卸売市場牡鹿市場・牡鹿製氷冷蔵庫建設工事設計業務
- ◆ 水産物地方卸売市場牡鹿市場・牡鹿製氷冷蔵庫建設工事

津波により被災した牡鹿市場の建替え設計および工事。

## 牡鹿売場及び牡鹿製氷冷蔵庫

鉄骨造2階建

延べ面積 1,727.02m<sup>2</sup>

魚市場、製氷冷蔵庫

建築、機械設備、電気設備、プラント設備、外構

## 工事場所

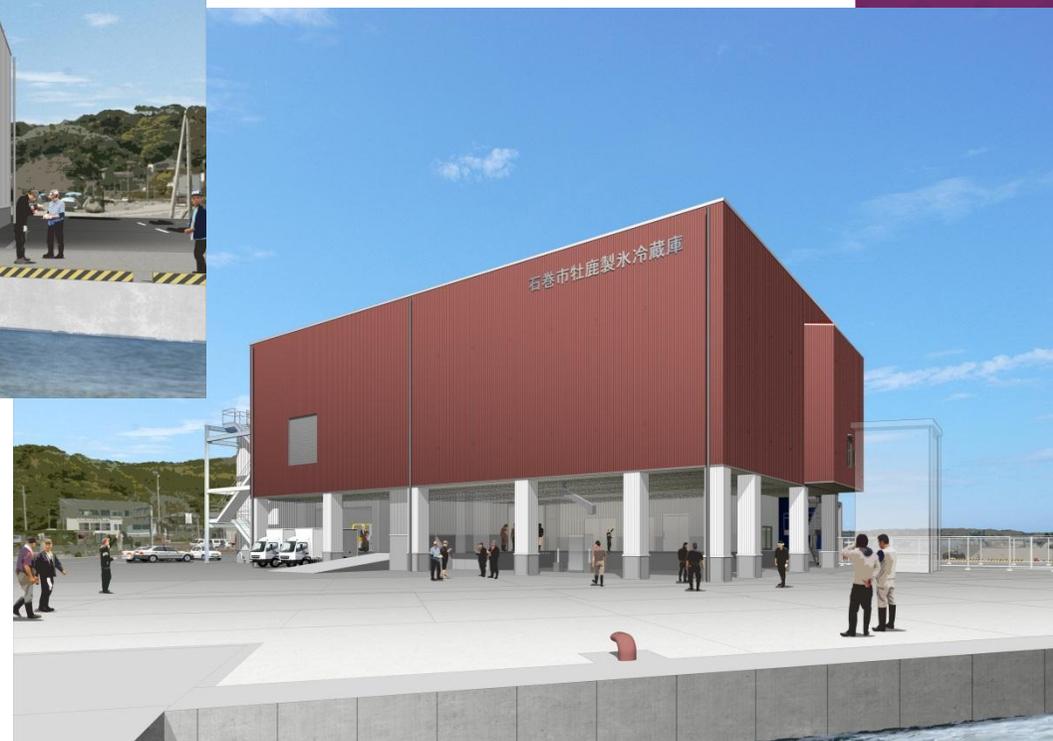
石巻市鮎川浜丁55番

# 担当業務 ③



牡鹿市場 現況

# 担当業務 ③



牡鹿市場 完成予想図

# 担当業務 ④

## ◆ 牡鹿総合支所耐震補強工事・災害復旧工事

耐震壁補強、床、壁、天井補修、外構補修

工事場所

石巻市鮎川鬼形山1番13

# 担当業務 ④



牡鹿総合支所 改修状況

# 担当業務 ⑤

## ◆ おしか家族旅行村オートキャンプ場サニタリー棟災害復旧建設工事

被災したサニタリー棟の建替え工事。

木造 1階建て 延べ面積 154.02㎡

便所、シャワー室、炊事場

工事場所

石巻市鮎川浜駒ヶ峯1番1

# 担当業務 ⑤



サニタリー棟 完成写真

# 担当業務 ⑥

## ◆ おしか御番所公園展望台災害復旧建設工事

被災した展望台の建替え工事。

鉄骨造 2階建て 延べ面積 184.08㎡

展望台

工事場所

石巻市鮎川浜黒崎1番643

# 担当業務 ⑥



展望台 完成写真